



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アールシーコア

コード番号 7837 URL <https://www.rccore.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二木 浩三

問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務責任者 (氏名) 鎌田 大樹 TEL 03-5990-4070

四半期報告書提出予定日 2023年8月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,262	4.6	67	—	62	—	2,914	—
2023年3月期第1四半期	3,118	△19.0	△473	—	△484	—	△487	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,938百万円 (—%) 2023年3月期第1四半期 △482百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	687.24	—
2023年3月期第1四半期	△115.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	9,085	3,821	42.1	900.91
2023年3月期	11,195	881	7.9	207.92

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 3,821百万円 2023年3月期 881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,300	△4.6	50	—	26	—	2,800	—	636.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	4,536,400株	2023年3月期	4,536,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	294,370株	2023年3月期	295,670株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	4,240,844株	2023年3月期1Q	4,216,159株

（注）期末自己株式数には、株式給付信託口及び役員株式給付信託口が保有する当社株式（2024年3月期1Q 294,138株）が含まれております。また、株式給付信託口及び役員株式給付信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2023年3月期1Q 295,324株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象など	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	9
生産・受注及び販売の実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が大きく緩和され、経済活動が正常化するなか、雇用や所得環境の改善も見られ、景気回復の兆しが見える状況となりました。しかしながら、世界的な金融引締め継続による海外景気の下振れリスク及び地政学リスクによる資源価格の高騰や為替変動による物価上昇などの影響によるコスト増などに注視が必要な状況にあります。

住宅市場においては、国内の新設住宅着工戸数が、賃貸住宅の増加により底堅い動きを見せているものの、持家の着工数は減少傾向にあり、引き続き予断を許さない状況にあります。

このような事業環境の下、当社グループでは、BESS事業において本質回帰を掲げ、LOGWAY等での感動を起点としたファンづくりをベースとする農耕型営業を推進するとともに、集客策としてSNS（YouTube、Instagram等）での発信を強化しました。当第1四半期における新規来場数は前年同期比116.9%と伸長し、また、連結契約（受注）高においては、2,320百万円（前年同期比36.7%増）となりました。しかしながら、期末契約（受注）残高は7,848百万円と前期末比で9.4%減少しており、引き続き契約（受注）増に向けて、集客/営業の両面で注力していきます。

具体的には、商品面で「栖（すみか）ログ」の魅力向上に向けた仕様等の見直しや新商品開発を進めるとともに、「禁（ふもと）暮らし」に関連し長野県小諸市と移住定住促進を軸とした提携協定を締結、さらに、BtoB事業（特建事業）において株式会社キッチハイクと北海道厚沢部町にて「栖ログ」をベースとした保育園留学の寮を共同プロデュースすることとなりました。

現在BESS MAGMAとして営業している東京都代官山の資産譲渡に係る引渡ししが2023年4月25日に完了しました。なお、本譲渡での明渡しは2025年4月であり、それまでの期間は従来通り営業を継続します。

こうした状況のなか、当社グループの当第1四半期連結累計期間における連結売上高は3,262百万円と前年同期比4.6%の増加となりました。また、連結営業利益については、67百万円（前年同期は473百万円の損失）となりました。以下、連結経常利益が62百万円（同484百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益が2,914百万円（同487百万円の損失）となっております。

セグメント別の状況は以下の通りであります。

① 直販部門

連結売上高の34.9%（外部顧客売上高ベース）を占める直販部門は、東京都・代官山の「BESS MAGMA」、東京都・昭島の「BESS多摩」及び神奈川県「BESS藤沢」の直営3拠点で、東京・神奈川圏を中心とする顧客との直接の工事元請契約によるBESS企画型住宅等の提供を主要事業としております。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は、1,149百万円（前年同期比18.4%増）となり、セグメント利益は、183百万円（前年同期は11百万円の損失）となりました。

また、セグメント契約（受注）高は802百万円（同13.0%増）となりました。

② 販社部門

連結売上高の27.2%を占める販社部門は、全国の地区販社に対して、BESSブランドと販売システム等を提供するとともに、BESS企画型住宅の部材キット等を供給する事業を行っております。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は、1,409百万円（前年同期比4.2%減）となり、セグメント利益は、138百万円（前年同期は172百万円の損失）となりました。

また、セグメント契約（受注）高は、1,083百万円（同67.6%増）となりました。

③ 株式会社BESSパートナーズ（以下、BP社）

連結売上高の37.9%を占める国内連結子会社グループのBP社は、株式会社BESSパートナーズが運営する千秋（秋田県）、熊谷（埼玉県）、水戸、つくば（茨城県）、富士、浜松（静岡県）、東愛知（愛知県）、糸島（福岡県）、熊本（熊本県）に加え、その連結子会社である株式会社BESS札幌が運営する札幌（北海道）、同じく株式会社BESS岐阜が運営する岐阜（岐阜県）の合計11拠点のBESS LOGWAYによるグループであり、顧客との直接の工事元請契約によるBESS企画型住宅等の提供を主要事業としております。なお、千秋（秋田県）については2023年6月末に閉鎖しました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は、1,263百万円（前年同期比9.8%増）となり、セグメント損失は、37百万円（前年同期は66百万円の損失）となりました。

また、セグメント契約（受注）高は、801百万円（同128.3%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比で2,109百万円減少の9,085百万円、負債は同5,049百万円減少の5,264百万円、純資産は同2,939百万円増加の3,821百万円となりました。それぞれの主な増減要因につきましては、次の通りであります。

総資産につきましては、「有形固定資産」が2,722百万円の減少及び「繰延税金資産」が566百万円の減少に対し、「現金及び預金」が870百万円増加したこと等によります。

負債につきましては、「短期借入金」が2,894百万円の減少及び「1年以内返済予定長期借入金」が1,393百万円減少したこと等によります。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益2,914百万円を計上したこと等によります。その結果、自己資本比率は42.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表した数値に変更はありません。

（4）継続企業の前提に関する重要事象など

当社は、複数の金融機関との間で締結したシンジケーション方式による金銭消費貸借契約において、一定の財務制限条項が付されており、前連結会計年度末の財政状態は当該条項に抵触しておりましたが、代官山資産の譲渡代金を原資とした借入金の返済につき2023年4月25日をもって実行しており、本件は解消しております。現状において、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,199,386	4,070,082
売掛金及び完成工事未収入金	980,372	937,509
リース債権	14,810	13,875
商品	459,376	379,272
貯蔵品	108,268	113,279
仕掛販売用不動産	589,108	580,207
未成工事支出金	158,898	85,058
その他	343,685	635,810
貸倒引当金	△216,288	△214,136
流動資産合計	5,637,618	6,600,957
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,165,327	821,615
その他	2,720,402	2,244,956
減価償却累計額	△1,818,404	△1,721,501
その他（純額）	901,998	523,455
有形固定資産合計	4,067,326	1,345,070
無形固定資産		
その他	20,092	24,641
無形固定資産合計	20,092	24,641
投資その他の資産		
関係会社株式	20,000	20,000
繰延税金資産	610,988	44,670
その他	855,180	1,070,669
貸倒引当金	△15,729	△20,245
投資その他の資産合計	1,470,439	1,115,094
固定資産合計	5,557,857	2,484,807
資産合計	11,195,476	9,085,764

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金及び工事未払金	1,265,798	981,842
短期借入金	2,894,400	-
1年内返済予定の長期借入金	1,541,363	148,139
未払法人税等	9,775	865,683
前受金及び未成工事受入金	948,321	796,187
契約負債	124,724	114,954
仮受金	705,000	-
賞与引当金	50,434	72,138
役員賞与引当金	4,170	2,820
その他	889,498	479,776
流動負債合計	8,433,484	3,461,541
固定負債		
長期借入金	764,117	732,601
契約負債	127,225	130,160
退職給付に係る負債	64,428	66,493
株式給付引当金	36,912	36,655
役員株式給付引当金	148,406	116,515
資産除去債務	191,661	185,597
その他	547,501	534,509
固定負債合計	1,880,253	1,802,533
負債合計	10,313,738	5,264,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	671,858	671,858
資本剰余金	730,399	730,399
利益剰余金	△218,712	2,695,785
自己株式	△321,228	△319,824
株主資本合計	862,316	3,778,218
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	19,421	43,471
その他の包括利益累計額合計	19,421	43,471
純資産合計	881,737	3,821,690
負債純資産合計	11,195,476	9,085,764

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,118,905	3,262,290
売上原価	2,495,622	2,345,162
売上総利益	623,282	917,127
販売費及び一般管理費	1,096,611	849,556
営業利益又は営業損失(△)	△473,329	67,571
営業外収益		
受取利息及び配当金	822	654
販売協力金	1,117	595
保険解約返戻金	490	465
移転補償金	4,045	4,045
その他	2,156	72
営業外収益合計	8,631	5,834
営業外費用		
支払利息	10,892	7,472
支払手数料	8,483	-
その他	138	3,932
営業外費用合計	19,514	11,405
経常利益又は経常損失(△)	△484,212	62,000
特別利益		
固定資産売却益	-	4,222,830
特別利益合計	-	4,222,830
特別損失		
固定資産売却損	-	3,713
特別損失合計	-	3,713
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△484,212	4,281,117
法人税等	3,395	1,366,619
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△487,607	2,914,497
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△487,607	2,914,497

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△487,607	2,914,497
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	5,460	24,050
その他の包括利益合計	5,460	24,050
四半期包括利益	△482,146	2,938,548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△482,146	2,938,548

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額 (注) 2
	直販部門	販社部門	BP社	計		
売上高						
外部顧客への売上高	970,114	1,073,565	1,075,224	3,118,905	—	3,118,905
セグメント間の内部売上高 又は振替高	619	397,759	75,932	474,312	△474,312	—
計	970,734	1,471,325	1,151,157	3,593,217	△474,312	3,118,905
セグメント利益又は損失(△)	△11,143	△172,526	△66,679	△250,349	△222,979	△473,329

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引の消去68,401千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△291,381千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額 (注) 2
	直販部門	販社部門	BP社	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,139,209	887,350	1,235,730	3,262,290	—	3,262,290
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,500	522,024	27,676	560,201	△560,201	—
計	1,149,710	1,409,375	1,263,406	3,822,492	△560,201	3,262,290
セグメント利益又は損失(△)	183,556	138,647	△37,702	284,501	△216,930	67,571

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引の消去49,394千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△266,325千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

生産・受注及び販売の実績

① 生産実績

当社グループが営む事業では、生産実績を定義することが困難であるため、記載しておりません。

② 受注実績及び販売実績

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位：百万円)

セグメント 区分	品目名称	前連結会 計年度繰 越高	当第1四 半期連結 累計期間 契約高	計	当第1四 半期連結 累計期間 販売高	次期繰越高		当第1四 半期連結 累計期間 施工高
						契約残高	うち施工高	
直販部門	ログハウス等 部材キット販売	171	27	199	25	44	—	—
	ログハウス等工事	4,425	675	5,100	897	4,332	141	921
	その他	0	7	7	47	—	—	—
	(小計)	4,597	710	5,307	970	4,377	141	921
販社部門	ログハウス等 部材キット販売	2,570	804	3,375	1,019	2,356	—	—
	その他	—	—	—	54	—	—	—
	(小計)	2,570	804	3,375	1,073	2,356	—	—
B P 社	ログハウス等 部材キット販売	15	6	21	15	6	—	—
	ログハウス等工事	4,956	307	5,263	1,056	4,206	32	1,057
	その他	—	—	—	2	—	—	—
	(小計)	4,971	313	5,285	1,075	4,212	32	1,057
合計		12,139	1,828	13,968	3,118	10,946	173	1,979

- (注) 1 前連結会計年度以前に契約したもので、契約の更改等により金額に変更のあるものについては、当期契約高に含めております。
- 2 次期繰越高のうち施工高については、未成工事支出金により手持工事の施工高を推定したものであります。
- 3 「ログハウス等工事」の施工高は（売上高＋次期繰越施工高－前期繰越施工高）に一致しております。
- 4 各部門の「その他」（販促物販売収入等）は、契約高の繰越管理を行っておりませんので、「前期繰越高」「当期契約高」及び「次期繰越高」の欄の記載は行っておりません。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位：百万円)

セグメント 区分	品目名称	前連結会 計年度繰 越高	当第1四 半期連結 累計期間 契約高	計	当第1四 半期連結 累計期間 販売高	次期繰越高		当第1四 半期連結 累計期間 施工高
						契約残高	うち施工高	
直販部門	ログハウス等 部材キット販売	110	74	185	13	171	—	—
	ログハウス等工事	3,434	726	4,160	1,080	3,080	86	983
	その他	0	2	3	44	—	—	—
	(小計)	3,546	802	4,348	1,139	3,251	86	983
販社部門	ログハウス等 部材キット販売	1,546	764	2,310	801	1,508	—	—
	その他	—	—	—	85	—	—	—
	(小計)	1,546	764	2,310	887	1,508	—	—
B P 社	ログハウス等 部材キット販売	2	30	33	4	28	—	—
	ログハウス等工事	3,564	722	4,287	1,230	3,057	25	1,222
	その他	—	—	—	0	—	—	—
	(小計)	3,567	753	4,320	1,235	3,085	25	1,222
合計		8,659	2,320	10,979	3,262	7,845	112	2,206

- (注) 1 前連結会計年度以前に契約したもので、契約の更改等により金額に変更のあるものについては、当期契約高に含めております。
- 2 次期繰越高のうち施工高については、未成工事支出金により手持工事の施工高を推定したものであります。
- 3 「ログハウス等工事」の施工高は（売上高＋次期繰越施工高－前期繰越施工高）に一致しております。
- 4 各部門の「その他」（販促物販売収入等）は、契約高の繰越管理を行っておりませんので、「前期繰越高」「当期契約高」及び「次期繰越高」の欄の記載は行っておりません。